

画書を提出させており、方向性や考え方をしっかりとまとめ、まちづくりの指針としていく。

公約については、ほとんど同様の内容であるが、町職員の民間登用は、技術面や福祉面で実行している。住宅団地の造成は町有地の問題の中で検討し実施していく。

合同墓は、帯広市の事例を参考に、調査研究を進めていきたい。

除雪対策は、助け合いの部分で社会福祉協議会において、担当課と連携をとりながら、小型除雪機での対応を検討している。

### 社会福祉施設職員等の選挙活動

原 紀夫 議員

社会福祉施設等の職員や関係する役員等は、公共性の強い職場であり準公務員的な性格であることから、選挙活動は自粛

すべきと考えるがいかがか。

福祉施設に入所している方に投票を誘導するような事例は他所でも度々起こっており、投票を厳正な取り扱いにしなければ公平性は保てない。指導すべきと考えるがいかがか。



山本選挙管理委員長

社会福祉施設の職員は選挙活動に関する規定がないので、なんら制限されるものではない。

投票は、選挙人の自由な意思に基づき行われなければならない。今後においても法律に基づき、公平・公正で明るい選挙が行われるよう、啓発運動を行っていく。

施設職員等の選挙活動については法律的には問題ないと思うが、投票を誘導するような事例があれば会議に諮り、前向きに考えたい。

### 公共工事の高落札率

原 紀夫 議員

本町における入札結果は毎年広報紙で知らされているが、予定価格に対する落札率は平成26年度4月から10月までの96件を見ると、大半が90%以上の落札率で、96%以上が59件となっており、指名競争入札であるが競争原理が働いていないのではないかと声が以前から聞かれる。

町民から指摘を受けることのないよう施策を講じるべきではないか。入札監視委員会を設置して、契約制度が公正かつ適正に行われるよう監視する方法もあるがいかがか。



3月定例会 議員側から見た議場の様子

高薄町長  
管内の平均落札率は96%から96%で、指名は町内業者の推進・育成も含めた基準である。予定価格を事前に公表していることもあり、それなりの結果が出ている。平成23年から平成26年の平均落札率は94・8%であり、管内平均より若干低い。入札監視委員会の設置は、不落札や入札の取りやめなどの問題が生じており、町村では進んでいない。設置を検討するには、今後の動向を注視していく必要があると考えている。

### 閉会中の委員会活動

#### 総務文教常任委員会

- ◇防災対策の現状と今後の展開について
- ◇人口減少対策の新たな発想について
- ◇その他所管に関する事項について

#### 産業厚生常任委員会

- ◇観光資源再生について
- ◇その他所管に関する事項について

#### 議会運営委員会

- ◇議会の運営とその諸規定について
- ◇議長との諮問に関する事項について

### 請願の審査

件名	提出者	審査委員会	結果
TPP交渉等国際貿易交渉に係る請願について	十勝清水町農業協同組合	産業厚生常任委員会	採択
	清水町農民連盟		
農協関係法制度の見直しに関する請願について	十勝清水町農業協同組合	産業厚生常任委員会	採択

### 意見書の提出

次の意見書は、第2回定例会において審議の結果、可決され、議会はこれを関係行政庁に提出しました。

- 「外形標準課税」の適用拡大に反対する要望意見書
- TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書
- 農協関係法制度の見直しに関する意見書